

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	2	教出	上	8	~	11	2	4	~	4

大単元(題材名)	ことばと であおう		
中単元(曲名)	ちいさい おおきい		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	D感動, 畏敬の念		

【到達目標】

知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
思・判・表	○ 場面の様子に着目して、登場人物の様子を具体的に想像することができる。
	○ 読み聞かせを聞いて、内容や感想などを伝え合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 言葉のリズムの快さを読み味わい、イメージの広がりを楽しみながら音読しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉から浮かぶイメージや、言葉の響きなどに気をつけて音読している。	(1)ク
思・判・表	○ 連ごとに対比される生き物たちの大小に着目して、それぞれの様子を具体的に想像している。	C(1)エ (2)イ
	○ 自分が音読したり、友達が音読するのを聞いたりして、内容や感想などを伝え合っている。	C(1)エ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 言葉のリズムの快さを読み味わい、イメージの広がりを楽しみながら音読している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
ちいさい おおきい①	1	○ 繰り返し音読し、感じたことを発表し合う。	構造と内容の把握
		○ 一・二連を読み、おもしろいと思ったところを発表し合う。	精査・解釈
ちいさい おおきい②	1	○ 三・四連を読み、おもしろいと思ったところを発表し合う。	精査・解釈
		○ 五・六連を読み、おもしろいと思ったところを発表し合う。	精査・解釈
		○ 気に入った連を音読し合う。	共有

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	2	教出	上	12	～	13	4

大単元(題材名)	ことばと であおう		
中単元(曲名)	つづけて みよう -日記-		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	A節度、節制／個性の伸長		

【到達目標】

知・技	○ 句読点の打ち方、かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 日記を書き、思ったことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 今日したことや思ったことを日記に書き、毎日をふり返ろうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 句読点の打ち方、かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	(1)ウ, エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ウ, エ
思・判・表	○ 毎日のできごとの中で経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、日記に書いて、伝えたいことを明確にしている。	B(1)ア (2)イ
	○ 日記を書き、思ったことや伝えたいことを書く活動をしている。	B(1)ア (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 今日したことや思ったことを日記に書き、毎日をふり返っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
つづけて みよう -日記-①	1	○ 全文を読み、学習のめあてをつかむ。	見通し
		・ 「日記の書き方」「日記のたね」を確認する。	見通し
つづけて みよう -日記-②	3	○ 今日、したことや、それについて思ったことなどを日記に書く。	記述
		○ 13ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	2	教出	上	14	～	16	3
							4
							～
							4

大単元(題材名)	声の 大きさを かんがえましょう。		
中単元(曲名)	声の ものさしを つかおう		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	A 節度，節制		

【到達目標】

知・技	○ アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに，姿勢や口形，発声や発音に注意して話することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫することができる。
	○ 紹介や説明，報告など伝えたいことを話したり，それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ その場の状況や場面によって，声の大きさを考えて話したり，音の調子で意味が違う言葉があることを確かめたりしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに，その場の様子に応じて，姿勢や口形，発声や発音に注意して話している。	(1)イ，エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)イ，エ
思・判・表	○ 伝えたい相手の数や，その場の様子に応じて，声の大きさや速さなどを工夫している。	A(1)ウ (2)ア
	○ 伝えたいことを話したり，それらを聞いて声に出して確かめたりしている。	A(1)ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ その場の状況や場面によって，声の大きさを考えて話したり，音の調子で意味が違う言葉があることを確かめたりしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
声の ものさしを つかおう①	1	○ 話すときに，場面に合わせた声の大きさに気をつけることの大切さを知る。	考えの形成
		・ 「声のものさし」を参考にする。	考えの形成
声の ものさしを つかおう②	2	○ 書くと同じ言葉でも，声に出して読むと違う意味になる言葉があることを知る。	考えの形成
		・ 音の調子で意味が違う言葉に気をつける。	考えの形成

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	2	教出	上	18	~ 33	13	4 ~ 4

大単元(題材名)	ーとうじょう人物のしたことに氣をつけてよもう		
中単元(曲名)	「えいっ」		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	A話すこと・聞くこと	
関連する道徳の内容項目	B感謝	C規則の尊重／家族愛，家庭生活の充実	

【到達目標】

知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに氣をつけて音読することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 場面の様子や登場人物の行動など，内容の大体を捉えることができる。
	○ 場面の様子に着目して，登場人物の行動を具体的に想像することができる。
	○ 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして，内容や感想などを伝え合う活動ができる。
	○ 伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫することができる。
	○ 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように聞き，話の内容を捉えて感想をもつことができる。
	○ 紹介したいことを話したり，それらを聞いて感想を述べたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ くまの子とくまのとうさんの行動や気持ちの動きを読みながら，このお話のおもしろいところをノートに書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 「えいっ。」など，会話を中心に言葉の抑揚に氣をつけて音読している。	(1)エ，ク
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ，ク
思・判・表	○ くまの親子の行動や場面の様子など，内容の大体を捉えている。	C(1)イ，エ (2)イ
	○ 場面の様子に着目して，くまの親子の行動を具体的に想像している。	C(1)イ，エ (2)イ
	○ 「えいっ」を読んで，内容や感想などを伝え合っている。	C(1)イ，エ (2)イ
	○ 「なるほど。」と言ったくまのとうさんについて話し合うとき，声の大きさや速さなどを工夫している。	A(1)ウ，エ (2)ア
	○ 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように聞き，話し合っている。	A(1)ウ，エ (2)ア
	○ 紹介したいことを話したり，それらを聞いて感想を述べたりする活動をしている。	A(1)ウ，エ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ くまのとうさんは，「えいっ。」を何回言い，どんなことが起きたか考えている。	
	○ くまのとうさんが最初に「えいっ。」と言ったときと最後に言ったときとでは，違っていることがあるか考えている。	
	○ くまの子とくまのとうさんの行動や気持ちの動きを読みながら，このお話のおもしろいところをノートに書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「えいっ」①	2	○ 全文を読み, 「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
		・ 初発の感想を自由に発表し合う。	構造と内容の把握
「えいっ」②	4	○ くまのとうさんは, 「えいっ。」を何回言い, どんなことが起きたか確かめる。	構造と内容の把握
「えいっ」③	2	○ くまのとうさんが最初に「えいっ。」と言ったときと最後に言ったときとで, 違っていることがあるか考える。	精査・解釈
「えいっ」④	3	○ くまの子は, 電車に乗ったとき, どんなことを考えていたか想像する。	精査・解釈
		○ お話の最後で, くまのとうさんが「なるほど。」と言ったのはなぜか, 話し合う。	考えの形成
「えいっ」⑤	2	○ この話のおもしろいところをノートに書き, 紹介し合う。	考えの形成/共有
		○ 33ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	2	教出	上	34	2	5	5

大単元(題材名)	大事な ことを おとさずに 聞きましょう。					
中単元(曲名)	ひろい 公園					
主領域／領域／内容の区分	A話すこと・聞くこと					
関連する道徳の内容項目						

【到達目標】

知・技	○ 共通，相違，事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き，話の内容を捉えることができる。
	○ 尋ねたり応答したりするなどして，少人数で話し合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 話し手が伝えたいことや大事な言葉は何かを，考えながら聞こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

			対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 絵から受ける情報と，それに関わる質問との関係について理解している。		(1)エ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。		(1)エ (2)ア
思・判・表	○ 話し手が知らせたいことを落とさないように集中して聞き，話の内容を捉えている。		A(1)エ (2)イ
	○ 尋ねたり応答したりするなどして，少人数で話し合う活動をしている。		A(1)エ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 話し手が伝えたいことや大事な言葉は何かを，考えながら聞いている。		

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
ひろい 公園①	1	○ 34・35ページの絵をもとに，大事なことを落とさずに聞く。	考えの形成
		○ グループに分かれ，36ページの質問や，それを参考にほかの質問をして，絵から探す。	考えの形成
ひろい 公園②	1	○ 伝言ゲームをする。	考えの形成
		○ 37ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	2	教出	上	38	~	39	2	5	~	5

大単元(題材名)	漢字の ひろば ①		
中単元(曲名)	画と 書きじゅん		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 第2学年までに配当されている漢字を読むことや、文や文章の中で使うことができる。
	○ 漢字の書き方には決まった順序（書き順）があることを理解することができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字の「画」と「画数」や「書き順」についての理解を深め、漢字を正しく書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工
	○ 漢字の書き順を理解して、正しい書き順で書いている。	(1)工
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字の「画」と「画数」や「書き順」についての理解を深め、漢字を正しく書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
画と 書きじゅん①	1	○ 漢字の画と画数の意味を知る。	
画と 書きじゅん②	1	○ 漢字の書き順のきまりを知る。	
		・ 書き順のきまり	
		・ 特別な書き順	

$$\boxed{5} \sim \boxed{5}$$

大単元(題材名)	漢字の ひろば ①		
中単元(曲名)	一年生で 学んだ 漢字 ①		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 第一学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○ 絵の中の言葉を使って、一年生の時のことを明確にすることができる。
	○ 絵の中の言葉を使って、一年生の時のできごとを思い出して書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 40ページの絵の中の言葉と一年生で学んだ漢字をもとに、一年生の時のことを具体的に文章に書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 一年生で習った漢字を使って、文や文章を書いている。	(1)工
思・判・表	○ 絵の中の言葉を使って、一年生の時のことを明確にしている。	B(1)ア (2)ア
	○ 絵の中の言葉を使って、一年生の時のできごとを思い出して書いている。	B(1)ア (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 40ページの絵の中の言葉と一年生で学んだ漢字をもとに、一年生の時のことを具体的に文章に書いている。	

【学習活動】

[illegible]

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	2	教出	上	42	～	49	13
							5
							5

大単元(題材名)	二 じゅんじょに 気を つけて よみ、つながりを 見つけよう		
中単元(曲名)	すみれと あり		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	D自然愛護／感動、畏敬の念		

【到達目標】

知・技	○ 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。
	○ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
	○ 事物の仕組みを説明した文章を読み、わかったことや考えたことを述べる活動ができる。
	○ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ すみれとありの関わりを、順序に気をつけて正しく読み、おもしろいな、不思議だなと思ったことを文章に書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ すみれのたねとありとの関係について理解している。	(1)エ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)ア
思・判・表	○ すみれがたねを飛ばす順序や、ありがそれを運ぶ順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。	C(1)ア, ウ (2)ア
	○ 順序に気をつけて読みながら、すみれの変っていく様子やありのすることを、語や文を考えて選び出している。	C(1)ア, ウ (2)ア
	○ すみれのたねとありとの関わりを読み、わかったことや考えたことを話し合っている。	C(1)ア, ウ (2)ア
	○ 文と文との続き方に注意しながら、この説明文のおもしろいところ、不思議なところについて、わかるように書き表し方を工夫している。	B(1)ウ (2)ア
	○ この説明文のおもしろいところ、不思議なところについて書く活動をしている。	B(1)ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 筆者が「ふしぎに思ったこと」を、42ページから見つけている。	
	○ すみれの変化とありの関わりについて、順序に気をつけて表にまとめている。	
	○ すみれとありの関わりを、順序に気をつけて正しく読み、おもしろいな、不思議だなと思ったことを文章に書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
すみれと あり①	1	○ 全文を読み、「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
すみれと あり②	2	○ 題名「すみれと あり」や写真を見て、どんな文章か話し合う。	構造と内容の把握
		○ 筆者が「ふしぎに思ったこと」を、42ページから見つける。	構造と内容の把握
すみれと あり③	7	○ すみれの変化とありの関わりについて、順序に気をつけて表にまとめる。	精査・解釈
すみれと あり④	3	○ なぜ、題名が「すみれと あり」なのか、友達と話し合う。	考えの形成
		○ この文章を読んで、「おもしろいな」「不思議だな」と思ったことを書いて発表し合う。	共有
		○ 49ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	2	教出	上	50	~	51	2	5	~	5

大単元(題材名)	声に 出して 読み, リズムを 楽しみましょう。		
中単元(曲名)	「言葉あそび」を しよう		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度		

【到達目標】

知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
	○ 長く親しまれている言葉遊びを通して, 言葉の豊かさに気づくことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 昔から親しまれてきた「言葉あそび」を通して, 言葉のリズムや響きを楽しもうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読を楽しんでいる。	(1)ク (3)イ
	○ 長く親しまれている言葉遊びを通して, 言葉の豊かさに気づいている。	(1)ク (3)イ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 昔から親しまれてきた「言葉あそび」を通して, 言葉のリズムや響きを楽しもうとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「言葉あそび」を しよう ①	1	○ 「いろはうた」や「おてだまうた」の仕組みを知り, くり返し音読する。	
「言葉あそび」を しよう ②	1	○ 「おてだまうた」で, 歌うようにリズムをとりながら, お手玉やまりつきをする。	

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	2	教出	上	52	~	53	3	5	~	5

大単元(題材名)	かたかなで 書く 言葉		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 片仮名を読み，書くとともに，片仮名で書く語の種類を知り，文や文章の中で使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ どういう言葉を片仮名で書くのかを理解し，正しく使い分けようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 片仮名を読み，書くとともに，片仮名で書く語の種類を知り，文や文章の中で使っている。	(1)ウ, エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ウ, エ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ どういう言葉を片仮名で書くのかを理解し，正しく使い分けている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
かたかなで 書く 言葉①	2	○ 片仮名で書く言葉を理解し，正しく使い分ける。	
		・ 53ページの練習問題を話し合う。	
かたかなで 書く 言葉②	1	○ 身の回りにある片仮名を集め，52ページの4つの仲間に分ける。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	2	教出	上	58	6	6	6

大単元(題材名)	三 本で しらべて しょうかいしよう					
中単元(曲名)	「生きもののクイズ」を 作ろう					
主領域／領域／内容の区分	B書くこと					
関連する道徳の内容項目						

【到達目標】		
知・技	○ 身近なことを表す語句の量を増し，話や文章の中で使い，語彙を豊かにすることができる。	
	○ 問題と答えとの関係について理解することができる。	
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。	
思・判・表	○ 経験したことなどから書くことを見つけ，必要な事柄を集めたり確かめたりして，伝えたいことを明確にすることができる。	
	○ 自分の思いや考えが明確になるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。	
	○ 文と文との続き方に注意しながら，内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。	
	○ 身近なことや経験したことを報告したり，観察したことを記録したりするなど，見聞きたことを書く活動ができる。	
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りの生き物について本で詳しく調べ，それをもとに「生きもののクイズ」を作ろうとする。	

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 生き物について詳しく調べることで語句の量を増やし，「生きもののクイズ」の中で使い，語彙を豊かにしている。	(1)エ，オ (2)ア
	○ 問題と答えとの関係について理解している。	(1)エ，オ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ，オ (2)ア
思・判・表	○ クイズにしたい生き物について，必要な事柄を集めたり確かめたりして，「生きもののクイズ」を作っている。	B(1)ア，イ，ウ (2)ア
	○ 問題の内容がわかりやすくなるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	B(1)ア，イ，ウ (2)ア
	○ 「何が」「どうすると」「どうなるか」など，説明の内容がわかるように書き表し方を工夫している。	B(1)ア，イ，ウ (2)ア
	○ クイズにしたい生き物について，本で調べたことをもとにして「生きもののクイズ」に書く活動をしている。	B(1)ア，イ，ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りの生き物について本で詳しく調べ，それをもとに「生きもののクイズ」を作っている。	

【学習活動】			
小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「生きもののクイズ」を作ろう①	2	○ 58ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に，学習計画を立てる。	見通し
		○ クイズにしたい生き物を決め，調べる。	題材の設定
		・ 54ページ「図書館で 本を さがそう」を参考にする。	題材の設定
「生きもののクイズ」を作ろう②	2	○ 調べた内容をメモに書く。	情報の収集
		○ メモをもとに，「生きもののクイズ」を作る。	考えの形成
		・ 60ページを参考にする。	考えの形成
「生きもののクイズ」を作ろう③	2	○ 作ったクイズを読み返す。	推敲
		○ 「生きもののクイズ」を出し合う。	共有
		○ 61ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	2	教出	上	64	～	68	4	6	～	6

大単元(題材名)	うれしく なる 言葉		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B 親切, 思いやり／友情, 信頼		

【到達目標】

知・技	○ 言葉には, 事物の内容を表す働きや, 経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 伝えたい事柄や相手に応じて, 声の大きさや速さなどを工夫することができる。
	○ 尋ねたり応答したりするなどして, 少人数で話し合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 友達のよいところやすてきなところを, 言葉の表し方を工夫して, 気持ちをこめて伝えようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉には, 表現の仕方によって気持ちを伝える働きがあることに気づいている。	(1)ア, エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ア, エ
思・判・表	○ 伝えたい事柄や相手に応じて, 気持ちが伝わるような言い方を工夫している。	A(1)ウ (2)イ
	○ 尋ねたり応答したりするなどして, 少人数で話し合う活動をしている。	A(1)ウ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 友達のよいところやすてきなところを, 言葉の表し方を工夫して, 気持ちをこめて伝えている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
うれしく なる 言葉①	1	○ 心に残っている「うれしかった言葉」を集め, 発表し合う。	情報の収集
うれしく なる 言葉②	1	○ 66・67ページを読み, どのように言われるとうれしいか確かめる。	表現
		・ 言葉を付け加えたり, ほかの言い方を探したりしてみる。	表現/共有
うれしく なる 言葉③	2	○ 友達のすてきなところを思いうかべ, うれしくなる言葉を伝え合う。	表現/共有
		・ 68ページ「すてきな ところの メモカード」を参考にする。	表現/共有
		・ 「すてきな ところ」をくわしく書く。	表現/共有

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	2	教出	上	70	～	85	15
							6
							6

大単元(題材名)	四 くりかえしに 気を つけて、とうじょう人物の 様子を 読もう		
中単元(曲名)	きつねの おきゃくさま		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	B 親切, 思いやり	

【到達目標】

知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。
	○ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。
	○ 物語を読み、内容や感想などを伝え合う活動ができる。
	○ 想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。
	○ 感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 話の「くりかえし」に気をつけながら、場面の移り変わりとともに変わっていくきつねの様子や気持ちを想像しながら読み、好きな場面について自分の思いを書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 会話文などに気をつけて音読している。	(1)エ, ク
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ, ク
思・判・表	○ ひよこたちとの出会いに着目して、きつねの行動を具体的に想像している。	C(1)エ, オ (2)イ
	○ この話のきつねと自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	C(1)エ, オ (2)イ
	○ 「きつねの おきゃくさま」を読んで、内容やきつねへの思いなどを伝え合っている。	C(1)エ, オ (2)イ
	○ きつねに対する思いや好きな場面について感じたことなど、伝えたいことを明確にしている。	B(1)ア, オ (2)ウ
	○ 書いた文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。	B(1)ア, オ (2)ウ
	○ 思ったことや感じたことを書く活動をしている。	B(1)ア, オ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ お話の繰り返しについて、できごとの順に確かめている。	
	○ 場面によって変わっていく、きつねの考えたことをノートにまとめている。	
	○ 話の「くりかえし」に気をつけながら、場面の移り変わりとともに変わっていくきつねの様子や気持ちを想像しながら読み、好きな場面について自分の思いを書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
きつねの おきやくさま①	1	○ 全文を読み, 「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
きつねの おきやくさま②	6	○ 次の点について, お話の繰り返しを確かめる。	構造と内容の把握
		・ だれかがだれかと出会う。	構造と内容の把握
		・ 「……どこかに いい すみか, ないかなあ。こまってるんだ。」	構造と内容の把握
		・ そろってきつねの家に行く。	構造と内容の把握
きつねの おきやくさま③	6	○ 次の時, きつねが考えたことをノートに書き, 話し合う。	精査・解釈
		・ ひよこやあひるに会って, 「○○○お兄ちゃん。」と言われた時。	精査・解釈
		・ 「いや, まだ いるぞ。きつねが いるぞ。」と飛び出した時。	精査・解釈
		・ 「はずかしそうに わらって しんだ」時。	精査・解釈
きつねの おきやくさま④	2	○ このお話のきつねを, どのようなきつねと思うか, その訳も考える。	考えの形成
		○ 好きな場面について, どんなところが好きなのか, 思ったことや感じたことをノートに書き, 発表する。	考えの形成/共有
		○ 85ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023

年度

教科

学年

国語

2

教科書

上下

教科書ページ

教出

上

86

～

87

配当時数

5

配当月

7

～

7

大単元(題材名)	いなばの しろうさぎ		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目	A 正直，誠実	B 親切，思いやり	C 伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度

【到達目標】

知・技	○ 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして，我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 「いなばの しろうさぎ」の読み聞かせを聞き，おもしろいところを話し合ったり，昔から伝えられてきたほかの昔話を讀んだりしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして，我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。	(3)ア
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 「いなばの しろうさぎ」の読み聞かせを聞き，おもしろいところを話し合ったり，昔から伝えられてきたほかの昔話を讀んだりしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
いなばの しろうさぎ①	1	○ 全体を通して読み聞かせを聞く。	
		・ 初発の感想や，このお話について知っていることなどを発表し合う。	
いなばの しろうさぎ②	2	○ 全体を3つのまとまりに分け，それぞれのおもしろい場面を話し合う。	
いなばの しろうさぎ③	2	○ ほかの昔話を探して読み，感想を発表し合う。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	2	教出	上	88	4	7	7

大単元(題材名)	おなじ ところや, ちがう ところを 見つけましょう。		
中単元(曲名)	「かんさつ発見カード」を 書こう		
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと		
関連する道徳の内容項目	D自然愛護		

【到達目標】

知・技	○ 文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。
思・判・表	○ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
	○ 観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 今まで観察してきたことと同じところや違うところなど、気づいたことをもとに「かんさつ発見カード」を書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 文の中における主語と述語との関係に気づき、文章を書いている。	(1)カ
思・判・表	○ 観察を通して気づいたことや発見したことから話題を見つけ、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	B(1)イ (2)ア
	○ 観察したことを記録するなど、「かんさつ発見カード」に書く活動をしている。	B(1)イ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 今まで観察してきたことと同じところや違うところなど、気づいたことをもとに「かんさつ発見カード」を書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「かんさつ発見カード」を書こう①	1	○ 教科書を読み、学習の流れをつかむ。	見通し
		○ 観察するものを決め、観察する。	題材の設定
「かんさつ発見カード」を書こう②	1	○ 観察したものと、今までの観察記録とを見比べ、同じところ、違うところを確かめる。	情報の収集
		○ 「くみ立てひょう」を書く。	内容の検討/構成の検討
「かんさつ発見カード」を書こう③	2	○ 「かんさつ発見カード」を書き、読み合う。	表現/共有
		○ 90ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	2	教出	上	91	~	93	2	7	~	7

大単元(題材名)	「言葉のなかまさがしゲーム」をしよう		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 「言葉のなかまさがしゲーム」をすることで、言葉はさまざまな仲間に分かれることを理解するとともに、語彙を豊かにしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 同じ仲間の言葉を集めることで語句の量を増やし、「言葉のなかまさがしゲーム」をすることで、語彙を豊かにしている。	(1)工, オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工, オ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 「言葉のなかまさがしゲーム」をすることで、言葉はさまざまな仲間に分かれることを理解するとともに、語彙を豊かにしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「言葉のなかまさがしゲーム」をしよう①	1	○ 「言葉のなかまさがしゲーム」のやり方を理解する。	
		○ グループに分かれ、それぞれ同じ仲間の言葉を集める。	
		○ 集めた言葉を、グループ内で確かめ、まとめる。	
「言葉のなかまさがしゲーム」をしよう②	1	○ 集めた言葉の仲間からいくつか選び、そこに1つだけ違う仲間の言葉をまぜ、問題をつくる。	
		○ 作った問題をほかのグループと交換して、ゲームをする。	

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	2	教出	上	94	～	95	5
							9
							～
							9

大単元(題材名)	じゅんじょを考えて話しましょう。	
中単元(曲名)	話したいな、聞きたいな、夏休みのこと	
主領域／領域／内容の区分	A話すこと・聞くこと	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 姿勢や口形，発声や発音に注意して話すことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 相手に伝わるように，行動したことや経験したことに基づいて，話す事柄の順序を考えることができる。
	○ 報告など伝えたいことを話したり，それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 夏休みのできごとやしたことを，友達との練習をもとに，順序を考えて話そうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ クラスのみんなにはっきり伝わるように，姿勢や口形，発声や発音に注意して話している。	(1)イ，エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)イ，エ
思・判・表	○ 相手に伝わるように，夏休みのできごとやしたことに基づいて，話す事柄の順序を考えている。	A(1)イ (2)ア
	○ 夏休みのできごとやしたことを話したり，それらを聞いて感想を述べたりする活動をしている。	A(1)イ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 夏休みのできごとやしたことを，友達との練習をもとに，順序を考えて話そうとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
話したいな，聞きたいな，夏休みのこと①	3	○ 学習のねらいをつかむ。	見通し
		○ 3人ごとのグループに分かれ，夏休みのできごとやしたことを話す練習をする。	内容の検討
		・ はじめ・中・おわりに気をつけてまとめる。	内容の検討
話したいな，聞きたいな，夏休みのこと②	2	○ クラスのみんなに話す。	表現/共有
		○ 95ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	2	教出	上	96	~	97	2	9	~	9

大単元(題材名)	漢字のひろば ③		
中単元(曲名)	二つの漢字で できている言葉		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 第2学年までに配当されている漢字を読むことや、文や文章の中で使うことができる。
	○ 熟語の組み立てと意味が理解できる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 熟語の組み立てと意味を理解し、いろいろな熟語を集めたり作ったりして、文の中で正しく使おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ
	○ 熟語の組み立てと意味を理解して、文の中で正しく使っている。	(1)エ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 熟語の組み立てと意味を理解し、いろいろな熟語を集めたり作ったりして、文の中で正しく使っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
二つの漢字で できている言葉①	1	○ 二つの漢字から、その熟語の大体の意味を理解する。	
		・ 教科書の例以外にも、熟語を調べる。	
二つの漢字で できている言葉②	1	○ 二つの漢字を組み合わせた言葉を作り、その意味を考える。	
		・ 教科書の例以外にも、二つの漢字を組み合わせた熟語を作る。	

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
教科	学年	教出	上	100	～	115	12
国語	2						9
							9

大単元(題材名)	五 したことや言ったことから、登場人物の考えを読もう		
中単元(曲名)	わにのおじいさんのたからもの		
主領域／領域／内容の区分	C 読むこと	B 書くこと	
関連する道徳の内容項目	A 正直，誠実	B 親切，思いやり	D 感動，畏敬の念

【到達目標】

知・技	○ 言葉には，経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 場面の様子に着目して，登場人物の行動を具体的に想像することができる。
	○ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて，感想をもつことができる。
	○ 物語などを読み，内容や感想などを伝え合う活動ができる。
	○ 自分の思いや考えが明確になるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
	○ 文と文との続き方に注意しながら，内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 手紙を書くなど，感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面の移り変わりとともに変わっていくおにの子の様子や気持ちを想像しながら読み，登場人物に手紙を書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉には，経験したことを伝える働きがあることに気づいている。	(1)ア，エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ア，エ
思・判・表	○ 初めと終わりの場面を比べて，わにのおじいさんやおにの子の行動を具体的に想像している。	C(1)エ，オ (2)イ
	○ おにの子がどのような人物か，自分の体験とを結び付けて，感想をもっている。	C(1)エ，オ (2)イ
	○ 「わにのおじいさんのたからもの」を読み，内容や感想などを伝え合っている。	C(1)エ，オ (2)イ
	○ 自分の思いや考えが明確になるように，話し合ったことをもとにした手紙の簡単な構成を考えている。	B(1)イ，ウ (2)ウ
	○ 文と文との続き方に注意しながら，内容のまとまりがわかるように手紙の書き表し方を工夫している。	B(1)イ，ウ (2)ウ
	○ 人物像を考えたり手紙を書いたり，感じたことや想像したことを書く活動をしている。	B(1)イ，ウ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 初めと終わりの場面を比べ，どんなことがあったのか確かめている。	
	○ わにのおじいさんとおにの子，それぞれにとって「たからもの」は何か，考えている。	
	○ 場面の移り変わりとともに変わっていくおにの子の様子や気持ちを想像しながら読み，登場人物に手紙を書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程・考え方
わにのおじいさんのたからもの①	1	○ 全文を読み, 「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
わにのおじいさんのたからもの②	5	○ 登場人物をノートに書く。	構造と内容の把握
		○ 初めと終わりの場面を比べ, どんなことがあったのか確かめる。	構造と内容の把握
わにのおじいさんのたからもの③	1	○ わにのおじいさんは, なぜおにの子に宝物の場所を教えたのか考える。	精査・解釈
わにのおじいさんのたからもの④	1	○ わにのおじいさんとおにの子, それぞれにとって「たからもの」は何か考える。	精査・解釈
わにのおじいさんのたからもの⑤	1	○ おにの子はどんな人物か, どんなところからわかるか考える。	精査・解釈
わにのおじいさんのたからもの⑥	1	○ お話のおもしろいところやすてきだなと思ったところを発表し合う。	考えの形成
わにのおじいさんのたからもの⑦	2	○ 話し合ったことをもとに, おにの子かわにのおじいさんに手紙を書く。	表現
		○ 115ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	2	教出	上	116	~	117	2	9	~	9

大単元(題材名)	はんたいのいみの言葉, にたいみの言葉		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 反対の意味の言葉や似た意味の言葉を調べ、気づいたことを話し合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉には、反対の意味や似た意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。	(1)工, オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工, オ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 反対の意味の言葉や似た意味の言葉を調べ、気づいたことを話し合っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
はんたいのいみの言葉, にたいみの言葉①	1	○ 反対の意味の言葉を調べ、集める。	
はんたいのいみの言葉, にたいみの言葉②	1	○ 似た意味の言葉を調べ、集める。	

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	2	教出	上	118	～	124	11	10	～	10

大単元(題材名)	六 まとまりを考えて書こう		
中単元(曲名)	町の「すてき」をつたえます		
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文章の中で使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
	○ 文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、文と文との続き方を確かめたりすることができる。
	○ 身近なことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 見たことや調べたことをメモに書き、メモをもとにしてみんなに伝える文章を読み返しながら書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文章の中で使っている。	(1)ウ, エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ウ, エ
思・判・表	○ 町の「すてき」を伝えるために、探検した事柄に沿って簡単な構成を考えている。	B(1)イ, ウ, エ (2)ア
	○ 文と文との続き方に注意しながら、探検したことがわかるように、順序に気を付けて書き表し方を工夫している。	B(1)イ, ウ, エ (2)ア
	○ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、文と文との続き方を確かめたりしている。	B(1)イ, ウ, エ (2)ア
	○ 町の「すてき」を報告したり、観察したことをメモしたりするなど、見聞きしたことを書く活動をしている。	B(1)イ, ウ, エ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 「町たんけん」でわかったことを、メモに書いている。	
	○ メモをもとに、組み立てを考えている。	
	○ 見たことや調べたことをメモに書き、メモをもとにしてみんなに伝える文章を読み返しながら書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
町の「すてき」をつたえます①	1	○ 118ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に、学習計画を立てる。	見通し
町の「すてき」をつたえます②	4	○ 「町たんけん」でわかったことを、メモに書く。	情報の収集
		・ 聞いたこと、見つけたこと、おもったこと、など。	情報の収集
町の「すてき」をつたえます③	2	○ 組み立てを考える。	構成の検討
		・ 「はじめ・中・おわり」	構成の検討
町の「すてき」をつたえます④	3	○ 文章を書き、読み返す。	記述/推敲
町の「すてき」をつたえます⑤	1	○ 書いた文章を読み合い、よいところを伝え合う。	共有
		○ 123ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	2	教出	上	126	～	133	2
							10
							10

大単元(題材名)	七 しゃしんをくらべて、考えよう	
中単元(曲名)	この間に何があった？	
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
思・判・表	○ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。
	○ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。
	○ 図鑑や科学的なことについての写真などを見て、わかったことなどを説明する活動ができる。
	○ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
	○ 簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 2枚の写真の間に何が起こったか、文章に書いて、話し合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 2枚の写真を見比べて、共通、相違、事柄の順序などの関係について理解している。	(2)ア
思・判・表	○ 2枚の写真の時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。	C(1)ア, オ (2)ウ
	○ 2枚の写真と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	C(1)ア, オ (2)ウ
	○ 図鑑や科学的なことについての写真などを見て、わかったことなどを説明する活動をしている。	C(1)ア, オ (2)ウ
	○ 2枚の写真を比べて気がついたことが明確になるように、簡単な構成を考えている。	B(1)イ (2)ウ
	○ 2枚の写真を比べて、感じたことや想像したことを書く活動をしている。	B(1)イ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 2枚の写真の間に何が起こったか、文章に書いて、話し合っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
この間に何があった？①	1	○ 126・127ページの写真を比べ、何が起こったかを言葉で書き、発表し合う。	考えの形成/記述
		○ 128・129ページの写真を見て、自分たちが考えたことと比べてどうだったか発表し合う。	考えの形成
この間に何があった？②	1	○ 130・131ページの写真を比べ、何が起こったかを言葉で書き、発表し合う。	考えの形成/記述
		○ 132・133ページの写真を比べ、何が起こったかを言葉で書き、発表し合う。	考えの形成/記述

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	2	教出	下	6	～	17	11
							10
							～
							10

大単元(題材名)	一 じゅんじょや様子に気をつけて読もう		
中単元(曲名)	さけが大きくなるまで		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	A話すこと・聞くこと	
関連する道徳の内容項目	D自然愛護		

【到達目標】

知・技	○ 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
	○ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。
	○ 事物の仕組みを説明した文章などを読み、わかったことや考えたことを述べる活動ができる。
	○ 読んだことから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。
	○ 紹介や説明など伝えたいことを話したり、それらを聞いて感想を述べたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ さけが大きくなるまでを、時や大きさ・場所を表す言葉などを使い、順序に気をつけてくわしく説明しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ さけが大きくなるまでを、時や場所とのかかわりを通して理解している。	(1)エ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)ア
思・判・表	○ さけが大きくなる様子を確かめるために、時・場所・大きさや様子を表す言葉を選び出している。	C(1)ウ, オ (2)ア
	○ さけの成長と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	C(1)ウ, オ (2)ア
	○ さけが大きくなるまでを説明した文章を読み、わかったことや考えたことを述べる活動をしている。	C(1)ウ, オ (2)ア
	○ さけが大きくなる様子について、わかったことや考えたことを発表し合うために必要な事柄を選んでいる。	A(1)ア (2)ア
	○ さけが大きくなる様子を説明したり、それらを聞いて感想を述べたりする活動をしている。	A(1)ア (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ さけが大きくなるまでを、時や大きさ・場所を表す言葉などを使い、順序に気をつけてくわしく説明している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
さけが大きくなるまで①	1	○ 全文を読み、「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
さけが大きくなるまで②	1	○ さけについて知っていること、写真を見て考えたことを話し合う。	事前の準備
さけが大きくなるまで③	5	○ さけが大きくなる様子をまとめる。	精査・解釈
		・ 時・場所・大きさや様子を表す言葉に着目する。	精査・解釈
さけが大きくなるまで④	2	○ 15ページの写真をもとに、さけが大きくなる様子を説明する。	考えの形成
		・ 時・場所・大きさや様子を表す言葉を使う。	考えの形成
		・ どこから説明を始めるか、工夫する。	考えの形成
さけが大きくなるまで⑤	2	○ さけが大きくなる様子について、わかったことや考えたことをノートに書いて、発表し合う。	記述/共有
		○ 17ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	2	教出	下	18	～	21	10
							10
							～
							10

大単元(題材名)	二 様子をよく見て、くわしく書こう	
中単元(曲名)	おもしろいもの、見つけたよ	
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 文章に対する感想を伝え合い、互いの文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。
	○ 観察したことを記録するなど、見聞きしたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 友達に教えてあげたいものの様子を詳しく観察し、その様子が伝わるように書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 友達に教えたいものの様子を表す語句の量を増やし、文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。	(1)工, オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工, オ
思・判・表	○ 文と文との続き方に注意しながら、教えたいものの様子がわかるように書き表し方を工夫している。	B(1)ウ, オ (2)ア
	○ 書いた文章に対する感想を伝え合い、互いの文章の内容や表現のよいところを見つけている。	B(1)ウ, オ (2)ア
	○ 観察したことをメモし、教えたいものの様子が伝わるように書く活動をしている。	B(1)ウ, オ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 友達に教えてあげたいものの様子を詳しく観察し、その様子が伝わるように書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
おもしろいもの、見つけたよ①	1	○ 18ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に、学習計画を立てる。	見通し
		○ 友達に教えたいおもしろいものを見つけ、書くことを決める。	題材の設定
おもしろいもの、見つけたよ②	3	○ 見つけたものの様子をメモに書く。	情報の収集
おもしろいもの、見つけたよ③	1	○ メモをもとに、まとまりごとに並べる。	構成の検討
おもしろいもの、見つけたよ④	4	○ 文章を書く。	記述
		○ 書いた文章を、声に出して読み返す。	推敲
おもしろいもの、見つけたよ⑤	1	○ 友達と文章を読み合い、文章のよいところを見つける。	共有
		○ 21ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	2	教出	下	22 ~ 24	2	11 ~ 11	

大単元(題材名)	しを読もう		
中単元(曲名)	てんとうむし／木		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	D自然愛護		

【到達目標】

知・技	○ 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。
思・判・表	○ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。
	○ 詩を読んで、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面の様子を想像しながら、詩を音読することを楽しみ、思ったことを自由に発表し合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉には意味による語句のまとまり、想像を広げる働きがあることに気づき、語彙を豊かにしている。	(1)オ
思・判・表	○ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	C(1)エ (2)イ
	○ 「てんとうむし」「木」について、内容や感想などを伝え合ったり、音読したりしている。	C(1)エ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面の様子を想像しながら、詩を音読することを楽しみ、思ったことを自由に発表し合っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
てんとうむし	1	○ 「てんとうむし」を繰り返し音読する。	精査・解釈
		・ 「いのち」に違いがあるか考える。	精査・解釈
木	1	○ 「木」を読み、感じたことを発表し合う。	精査・解釈
		・ 「ぼく」になったつもりで音読し合う。	精査・解釈

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	2	教出	下	26	7	11	11

大単元(題材名)	三 だれが、どのようにかわったかを考えて読もう		
中単元(曲名)	ないた赤おに		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	B親切, 思いやり／友情, 信頼		

【到達目標】

知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。
	○ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。
	○ 物語などを読んで、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 村人や青おにと関わりながら変わっていく赤おにの様子やそのときの気持ちを想像しながら読み、心に残ったところとその訳を書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて、会話文中心に音読している。	(1)エ, ク
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ, ク
思・判・表	○ 場面の移り変わりに着目して、赤おにや青おにの行動や心情を具体的に想像している。	C(1)エ, オ (2)イ
	○ 赤おにや青おにの行動と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	C(1)エ, オ (2)イ
	○ このお話を読んで、内容や感想などを伝え合ったり、音読したりする活動をしている。	C(1)エ, オ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 主な登場人物とできごとを確かめている。	
	○ お話の中で、赤おにが変わったところはどこか考えている。	
	○ 村人や青おにと関わりながら変わっていく赤おにの様子やそのときの気持ちを想像しながら読み、心に残ったところとその訳を書こうとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
ないた赤おに①	1	○ 全文を読み、「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
ないた赤おに②	3	○ 主な登場人物とできごとを確かめる。	構造と内容の把握
ないた赤おに③	1	○ お話の中で、赤おにが変わったところはどこか考える。	精査・解釈
		・ 人間たちや青おにとの関わりから。	精査・解釈
ないた赤おに④	1	○ 赤おにと青おにを、どのようなおにと思うか考える。	考えの形成
ないた赤おに⑤	1	○ このお話を読んで、心に残ったところと、その訳を紹介し合う。	共有
		○ 45ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	2	教出	下	46	～	49	5	11	～	11

大単元(題材名)	三 だが、どのようにかわったかを考えて読もう		
中単元(曲名)	「お話びじゅつかん」を作ろう		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。
	○ 文章を読んで感じたことやわかったことを共有することができる。
	○ 学校図書館などを利用し、気に入った本などを読み、わかったことなどを説明する活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 本の紹介の仕方を工夫し、「お話びじゅつかん」を作り、本を紹介し合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 読書に親しみ、「お話びじゅつかん」を通して、いろいろな本があることを理解している。	(1)エ (3)エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)エ
思・判・表	○ 気に入った本を読み、自分の体験とを結び付けて感想をもっている。	C(1)オ, カ (2)ウ
	○ 「お話びじゅつかん」で本を紹介し合い、感じたことやわかったことを共有している。	C(1)オ, カ (2)ウ
	○ 学校図書館などを利用し、気に入った本などを読み、わかったことなどを絵とカードにかく活動をしている。	C(1)オ, カ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 本の紹介の仕方を工夫し、「お話びじゅつかん」を作り、本を紹介し合っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「お話びじゅつかん」を作ろう①	1	○ 学習活動の大体をつかむ。	見通し
		・ 心に残ったところを絵にかき、カードをつける。	見通し
「お話びじゅつかん」を作ろう②	3	○ 図書館などを利用して気に入った本を読み、絵とカードをかく。	考えの形成
「お話びじゅつかん」を作ろう③	1	○ かいた絵やカードをはって、「お話びじゅつかん」を作り、その絵の前で紹介し合う。	共有

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	2	教出	下	50	8	11	11

大単元(題材名)	四 しつもんしたり答えたりして、話し合おう		
中単元(曲名)	「クラスお楽しみ会」をひらこう		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B 親切、思いやり		

【到達目標】

知・技	○ 共通、相違など情報と情報との関係について理解することができる。
思・判・表	○ 互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。
	○ 尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「クラスお楽しみ会」を開くために、グループで話し合っ「やりたいあそび」をまとめ、クラスのみんなに伝えようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 共通点や相違点など、やりたい遊びに対するそれぞれの理由をについて理解している。	(2)ア
思・判・表	○ 互いの意見に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。	A(1)オ (2)イ
	○ 尋ねたり応答したりするなどして、グループで話し合う活動をしている。	A(1)オ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 「クラスお楽しみ会」を開くために、グループで話し合っ「やりたいあそび」をまとめ、クラスのみんなに伝えている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「クラスお楽しみ会」をひらこう①	1	○ 50ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に、学習計画を立てる。	見通し
「クラスお楽しみ会」をひらこう②	3	○ やりたい遊びを考え、その理由をカードに書く。	話題の設定
		○ グループに分かれ、カードを使って話し合い、1つにまとめる。	考えの形成
「クラスお楽しみ会」をひらこう③	4	○ グループごとに、やりたい遊びを発表し合う。	表現
		○ 発表を聞いた後、感想を伝え合う。	共有
		○ 53ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	2	教出	下	54	～	55	5
							11
							11

大単元(題材名)	心がうごいたことを書きましょう。	
中単元(曲名)	みじかい言葉で	
主領域／領域／内容の区分	B書くこと	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。
思・判・表	○ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 心が動いたことを短い言葉で書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 心が動いたことを「みじかい言葉」で書き、友達と読み合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉には、心が動いた時に見たこと、したこと、感じたことを、短い言葉で伝える働きがあることに気づいている。	(1)ア
思・判・表	○ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、見たことをそのまま書いたり、何かにききつたりするなど書き表し方を工夫している。	B(1)ウ (2)イ
	○ 心が動いたことを短い言葉で書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動をしている。	B(1)ウ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 心が動いたことを「みじかい言葉」で書き、友達と読み合っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
みじかい言葉で①	2	○ 54・55ページの、3篇の詩を繰り返し音読し合う。	考えの形成
		・ それぞれの詩について、作者がどこに心が動かされたか話し合う。	考えの形成
みじかい言葉で②	2	○ 家や学校で、心が動いた時に見たこと、したこと、感じたことを、短い言葉で書く。	記述
みじかい言葉で③	1	○ 書いたものを友達と読み合い、感想を伝え合う。	共有
		○ 55ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	2	教出	下	56	~	57	2	12	~	12

大単元(題材名)	漢字の広場 ④		
中単元(曲名)	漢字のつかい方と読み方		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 第2学年までに配当されている漢字を読むことや、文や文章の中で使うことができる。
	○ 送り仮名によって漢字の読み方や意味が変わることを理解することができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字には、読み方が変わると意味が変わるものがあり、また、送り仮名は漢字の読み方や意味をはっきりさせることを理解し、文や文章で使おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ
	○ 送り仮名によって読み方や意味が変わる漢字があることを理解している。	(1)エ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字には、読み方が変わると意味が変わるものがあり、また、送り仮名は漢字の読み方や意味をはっきりさせることを理解し、文や文章で使っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
漢字のつかい方と読み方①	1	○ 漢字には、読み方が変わると意味が変わるものがあることを理解する。	
漢字のつかい方と読み方②	1	○ 「おくりがな」の意味や役割を理解し、送りがなに気をつけて漢字を読んだり書いたりする。	

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	2	教出	下	60	~	69	12	12	~	12

大単元(題材名)	五 わかりやすくせつめいするための、工夫をたしかめよう		
中単元(曲名)	「しかけ絵本」を作ろう		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。
	○ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
	○ 事物の仕組みを説明した文章を読み、わかったことや考えたことを述べる活動ができる。
	○ 経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 自分の思いや考えが明確になるように、簡単な構成を考えることができる。
	○ 文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 身近なことや経験したことをもとに、話を書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「しかけ絵本」をどのように作るか、作る順序を確かめながら読み、世界に1つしかない自分の「しかけ絵本」を作ろうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉には、「しかけ絵本」の作り方を説明するなど、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。	(1)ア, エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ア, エ
思・判・表	○ 「しかけ絵本」の順序に気をつけながら読み、内容の大体を捉えている。	C(1)ア, ウ (2)ア
	○ 「しかけ絵本」の作り方を示す重要な語や文を選び出している。	C(1)ア, ウ (2)ア
	○ 「しかけ絵本」の作り方を説明した文章を読み、わかりやすくするためにどのような工夫があるか話し合っている。	C(1)ア, ウ (2)ア
	○ 65ページを手掛かりに、書くことを見つけ、わかりやすい「しかけ絵本」を作っている。	B(1)ア, イ, ウ (2)ア
	○ 自分の思いや考えが明確になるように、「しかけ絵本」のための簡単な構成を考えている。	B(1)ア, イ, ウ (2)ア
	○ 文と文との続き方に注意しながら、わかりやすい話になるように書き表し方を工夫している。	B(1)ア, イ, ウ (2)ア
	○ 身近なことや経験したことをもとに、「しかけ絵本」の話を書く活動をしている。	B(1)ア, イ, ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 「しかけ絵本」の作り方を確かめている。	
	○ 「しかけ絵本」ができるまでに気をつけることを表にまとめている。	
	○ 「しかけ絵本」をどのように作るか、作る順序を確かめながら読み、世界に1つしかない自分の「しかけ絵本」を作っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「しかけ絵本」を作ろう①	1	○ 全文を読み, 「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
「しかけ絵本」を作ろう②	2	○ 「しかけ絵本」の作り方を確かめる。	構造と内容の把握
		・ 材料・道具, 作る順序。	構造と内容の把握
「しかけ絵本」を作ろう③	5	○ 「しかけ絵本」ができるまでに気をつけることを表にまとめる。	精査・解釈
「しかけ絵本」を作ろう④	1	○ この文章の工夫を考え, 話し合う。	考えの形成
「しかけ絵本」を作ろう⑤	3	○ 65ページを手掛かりに, 自分でも話を考え, 「しかけ絵本」を作る。	記述
		○ 68ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	2	教出	下	70	~	73	7
							12
							~ 12

大単元(題材名)	五 わかりやすくせつめいするための、工夫をたしかめよう	
中単元(曲名)	おもちゃのせつめい書を書こう	
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
思・判・表	○ 文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、文と文との続き方を確かめたりすることができる。
	○ 経験したことを報告するなど、見聞きしたこと書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ おもちゃの作り方や遊び方を、順序を考えながら説明書に書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	(2)ア
思・判・表	○ 作り方の順序に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫している。	B(1)ウ, エ (2)ア
	○ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、文と文との続き方を確かめたりしている。	B(1)ウ, エ (2)ア
	○ おもちゃの作り方や遊び方など、見たり・したりしたこと書く活動をしている。	B(1)ウ, エ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ おもちゃの作り方や遊び方を、順序を考えながら説明書に書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
おもちゃのせつめい書を書こう①	1	○ 70ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に、学習計画を立てる。	見通し
おもちゃのせつめい書を書こう②	1	○ 以前に作ったおもちゃの作り方や遊び方を思い出し、メモに書く。	情報の収集
おもちゃのせつめい書を書こう③	1	○ メモをもとに、説明書の組み立てを考える。	構成の検討/考えの形成
		・ はじめ・中・おわり。	構成の検討/考えの形成
		・ 気をつけたこと、遊び方。	構成の検討/考えの形成
おもちゃのせつめい書を書こう④	3	○ 説明書を書き、読み返す。	記述/推敲
		・ 順序, 気をつけたことや工夫したこと。	記述/推敲
おもちゃのせつめい書を書こう⑤	1	○ 友達と読み合う。	共有
		○ 73ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	2	教出	下	74	~	76	2	1	~	1

大単元(題材名)	しを読もう		
中単元(曲名)	せかいじゅうの海が		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	C国際理解，国際親善	D感動，畏敬の念	

【到達目標】

知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読し，語彙を豊かにすることができる。
思・判・表	○ 詩を読んで想像したことや感じたことを共有することができる。
	○ 詩を読んで，内容や感想などを伝え合ったり，演じたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 詩を読み，言葉のリズムや響きを味わい，イメージの広がりを楽しもうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

	対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読し，語彙を豊かにしている。(1)オ
思・判・表	○ 詩を読んで想像したことや感じたことを共有している。C(1)カ (2)イ
	○ 「せかいじゅうの海が」について，内容や感想などを伝え合ったり，音読したりしている。C(1)カ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 詩を読み，言葉のリズムや響きを味わい，イメージの広がりを楽しんでいる。

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
せかいじゅうの海が	2	○ 情景を思いうかべながら読んで，気づいたことや思ったことを話し合う。	考えの形成
		・ 「大きさ」を自由に発表し合う。	考えの形成
		・ おもしろかったところを，文章に書いて発表し合う。	共有

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	2	教出	下	78	~ 95	11	1 ~ 1

大単元(題材名)	六 場面や人物の様子をくわしく読もう		
中単元(曲名)	かさこじぞう		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	A話すこと・聞くこと	
関連する道徳の内容項目	A正直，誠実	B親切，思いやり	

【到達目標】

知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 場面の様子に着目して，登場人物の行動を具体的に想像することができる。
	○ 文章を読んで感じたことやわかったことを共有することができる。
	○ 物語などを読んで，内容や感想などを伝え合ったり，演じたりする活動ができる。
	○ 伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫することができる。
	○ 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き，話の内容を捉えて感想をもつことができる。
	○ 紹介や説明，報告など伝えたいことを話したり，それらを聞いて感想を述べたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面の様子や，じいさまとばあさまの行動や心情を思いうかべながら読み，役割をきめて音読発表会をしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 会話や情景を中心に言葉の響きなどに気をつけて音読している。	(1)エ，ク
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ，ク
思・判・表	○ 場面の様子に着目して，じいさま・ばあさまの行動や心情を具体的に想像している。	C(1)エ，カ (2)イ
	○ 「かさこじぞう」を読んで感じたことやわかったことを共有している。	C(1)エ，カ (2)イ
	○ 物語などを読んで，内容や感想などを伝え合ったり，音読劇をしたりする活動をしている。	C(1)エ，カ (2)イ
	○ 音読劇をするとき，じいさま・ばあさまなどの行動や心情に応じて，声の大きさや速さなどを工夫している。	A(1)ウ，エ (2)ア
	○ ほかのグループの音読劇を集中して聞き，劇の内容を捉えて感想をもっている。	A(1)ウ，エ (2)ア
	○ 人物像や好きな場面を紹介したり，それらを聞いて感想を述べたりする活動をしている。	A(1)ウ，エ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ お話のできごとをまとめ，何が変わったのか考えている。	
	○ じぞうさまは，なぜ，いろいろなものをじいさま・ばあさまに持っていったのか，紹介し合っている。	
	○ 場面の様子や，じいさまとばあさまの行動や心情を思いうかべながら読み，役割をきめて音読発表会をしようとする。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
かさこじぞう①	1	○ 全文を読み, 「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
		○ 主な登場人物を確かめる。	構造と内容の把握
かさこじぞう②	4	○ お話のできごとをまとめ, 何が変わったのか考える。	精査・解釈
かさこじぞう③	1	○ じぞうさまは, なぜ, いろいろなものをじいさま・ばあさまに持っていったのか。	考えの形成
		○ じいさま・ばあさまはどのような人物か, わかるところを見つけ, 紹介し合う。	考えの形成
かさこじぞう④	1	○ 好きな場面を選び, その訳を紹介し合う。	考えの形成
かさこじぞう⑤	3	○ グループで好きな場面を音読劇にし, 音読発表会をする。	表現
		・ グループで役の分担を決める。	表現
かさこじぞう⑥	1	○ ほかのグループの発表を聞いて, 感想をノートに書く。	共有
		○ 95ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	2	教出	下	96 ~ 97	3	1 ~ 1	

大単元(題材名)	むかしからつたわるかるたを楽しみましょう。		
中単元(曲名)	むかしのあそび		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度		

【到達目標】

知・技	○ 長く親しまれている正月遊びを通して，言葉の豊かさに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分たちのいる地域のかるたを探したり，グループでかるたを作ったりして楽しもうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 昔から長く親しまれているかるた遊びを通して，言葉の豊かさに気づいている。	(1)エ (3)イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)イ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分たちのいる地域のかるたを探したり，グループでかるたを作ったりして楽しんでいる。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
むかしのあそび	3	○ 図書館などで，地域のかるたを探し，遊ぶ。	
		○ グループに分かれ，自分たちでかるたを作り，楽しむ。	

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	2	教出	下	98	～	99	4
							1
							1

大単元(題材名)	じゅんじょに気をつけて話しましょう。		
中単元(曲名)	むかしのあそびをせつめいしよう		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	C 伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度		

【到達目標】

知・技	○ 姿勢や口形，発声や発音に注意して話すことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 相手に伝わるように，調べたこととに基づいて，話す事柄の順序を考えることができる。
	○ 紹介や説明，報告など伝えたいことを話したり，それらを聞いて感想を述べたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 新しく知った「むかしのあそび」を調べ，順序に気をつけてわかりやすく説明しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 姿勢や口形，発声や発音に注意して，わかりやすく話している。	(1)イ，エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)イ，エ
思・判・表	○ 「むかしのあそび」について調べたことを，相手にわかりやすく伝わるように，話す事柄の順序を考えている。	A(1)イ (2)ア
	○ 「むかしのあそび」についての説明をしたり，それらを聞いて感想を述べたりしている。	A(1)イ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 新しく知った「むかしのあそび」を調べ，順序に気をつけてわかりやすく説明している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
むかしのあそびをせつめいしよう①	1	○ 前単元「むかしのあそび」で新しく知った遊びから1つを選び，その遊び方を調べる。	話題の設定/情報の収集
むかしのあそびをせつめいしよう②	1	○ 調べたことをもとに，「せつめいのメモ」を作る。	構成の検討/考えの形成
むかしのあそびをせつめいしよう③	2	○ 「せつめいのメモ」をもとに説明する。	表現
		・ 「はじめ」「中(はじめに・つぎに・そして)」「おわり」	表現
		・ 順序に気をつける。	表現
		○ 99ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	2	教出	下	100 ~ 101	3	2 ~ 2	

大単元(題材名)	主語とじゅつ語		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 主語と述語の関係を理解し、文を読むときや書くときに、主語・述語に注意しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 文の中における主語と述語との関係に気づいている。	(1)工, カ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工, カ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 主語と述語の関係を理解し、主語・述語に注意して文を読んだり書いたりしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
主語とじゅつ語①	1	○ 100・101ページの①～③の文の形を確かめ、主語と述語がどんな言葉なのかを理解する。	
主語とじゅつ語②	2	○ ①～③と同じ形の文を作る。	

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	2	教出	下	102	~	103	2	2	~	2

大単元(題材名)	漢字の広場 ⑤		
中単元(曲名)	同じ読み方の漢字		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 第2学年までに配当されている漢字を読むことや、文や文章の中で使うことができる。
	○ 読み方は同じでも意味や使い方が違う漢字があることを理解することができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 同じ読み方の漢字があることを知り、意味や使い方を考えて、語や文の中で正しく書いたり使ったりしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ
	○ 読み方は同じでも意味や使い方が違う漢字があることを理解している。	(1)エ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 同じ読み方の漢字があることを知り、意味や使い方を考えて、語や文の中で正しく書いたり使ったりしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
同じ読み方の漢字	2	○ 漢字には、読み方は同じでも、意味や使い方が違うものがあることを確かめる。	
		○ 同じ読み方の漢字を使って文を作り、友達と読み合う。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	2	教出	下	104 ~ 109	13	2 ~ 2	

大単元(題材名)	七 じゅんじょに気をつけて書こう					
中単元(曲名)	こんなことができるようになったよ					
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと					
関連する道徳の内容項目						

【到達目標】

知・技	○ 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 文と文との続き方に注意しながら、できごとの順序を考えて書き表し方を工夫することができる。
	○ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、文と文との続き方を確かめたりすることができる。
	○ 文章に対する感想を伝え合い、文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。
	○ 身近なことや経験したことを報告するなど、見聞きしたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 2年生になって新しくできるようになったことを作文に書き、友達と読み合って感想を伝え合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	(1)ウ、エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ウ、エ
思・判・表	○ 文と文との続き方に注意しながら、できごとの順序を考えて書き表し方を工夫している。	B(1)ウ、エ、オ (2)ア
	○ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、文と文との続き方を確かめたりしている。	B(1)ウ、エ、オ (2)ア
	○ 文章に対する感想を伝え合い、お互いの文章の内容や表現のよいところを見つけている。	B(1)ウ、エ、オ (2)ア
	○ 2年生になってできるようになったことなど、見聞きしたことを書く活動をしている。	B(1)ウ、エ、オ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 書くことについて、よく思い出して、メモに書き出している。	
	○ メモをもとに順序を確かめ、文章の組み立てを考えている。	
	○ 2年生になって新しくできるようになったことを作文に書き、友達と読み合って感想を伝え合っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
こんなことができるようになったよ①	1	○ 104ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に、学習計画を立てる。	見通し
こんなことができるようになったよ②	4	○ 2年生になってできるようになったことを思い出し、書くことを決める。	題材の設定
		・ 書くことについて、よく思い出して、メモに書き出す。	情報の収集
		・ したこと、見たこと、話したこと、聞いたこと、感じたこと、考えたこと	情報の収集
こんなことができるようになったよ③	1	○ メモをもとに順序を確かめ、文章の組み立てを考える。	内容の検討/構成の検討
		・ はじめ、中、おわり	内容の検討/構成の検討
こんなことができるようになったよ④	5	○ メモの順序にそって文章を書き、読み返す。	記述/推敲
		・ 106・107ページの「文章を見直すときに気をつけること」を参考に。	記述/推敲
		・ 109ページ「げんこう用紙のつかい方」を参考に。	記述/推敲
こんなことができるようになったよ⑤	2	○ 出来上がった文章を読み合い、感想を伝え合う。	共有
		○ 109ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023

年度

教科

学年

国語

2

教科書

上下

教科書ページ

教出

下

110

～

111

配当時数

3

配当月

2

～

2

大単元(題材名)	音や様子をあらわす言葉	
中単元(曲名)		
主領域／領域／内容の区分		
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 音や様子を表す言葉の書き表し方や語感の違いを知り、正しい使い方を理解しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には音や様子を表すものがあることに気づき、語彙を豊かにしている。	(1)工, オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工, オ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 音や様子を表す言葉の書き表し方や語感の違いを知り、正しい使い方を理解している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
音や様子をあらわす言葉	3	○ 音を表す言葉と様子を表す言葉の書き表し方の違いを知る。	
		○ 音を表す言葉や様子を表す言葉の感じの違いを知る。	
		○ 教科書の例以外で、音や様子を表す言葉の書き表し方や語感の違いを確かめる。	

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	2	教出	下	112	~	113	2	2	~	2

大単元(題材名)	漢字の広場 ⑥		
中単元(曲名)	組み合わせでできている漢字		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 第2学年までに配当されている漢字を読むことや、文や文章の中で使うことができる。
	○ 漢字には、別の漢字を組み合わせた字や同じ部分をもつ字があることを理解することができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字の組み合わせと、同じ部分をもつ漢字を理解し、正しく読んだり書いたりしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

	対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。(1)工
	○ 漢字には、別の漢字を組み合わせた字や同じ部分をもつ字があることを理解している。(1)工
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字の組み合わせと、同じ部分をもつ漢字を理解し、正しく読んだり書いたりしている。

【学習活動】

小単元名		学習活動	学習の過程
組み合わせでできている漢字①	1	○ 漢字の組み立ての型分けを理解する。	
		・ 3つの型分けを知る。	
組み合わせでできている漢字②	1	○ 同じ部分をもつ漢字を理解する。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	2	教出	下	116	～	133	16
							3
							3

大単元(題材名)	八 場面の様子や登場人物の行動に気をつけて読もう		
中単元(曲名)	アレクサンダとぜんまいねずみ		
主領域／領域／内容の区分	C 読むこと	B 書くこと	
関連する道徳の内容項目	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	B 友情, 信頼	

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。
	○ 文章を読んで感じたことやわかったことを共有することができる。
	○ 物語などを読んで、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動ができる。
	○ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
	○ 身近なことや経験したことを報告するなど、見聞きしたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 命ある生き物とおもちゃ、その2匹のねずみの様子や気持ちの変化を想像しながら読み、心に残ったところやあらすじをまとめて、お話を紹介する文章を書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉には、事物の内容を表す働きや、読んで心に残ったことを伝える働きがあることに気づいている。	(1)ア, エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ア, エ
思・判・表	○ アレクサンダが考えを変えたことと自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	C(1)オ, カ (2)イ
	○ 登場人物と主なできごとについて、感じたことやわかったことを共有している。	C(1)オ, カ (2)イ
	○ 物語を読んで、内容や感想などを伝え合ったり、紹介し合ったりする活動をしている。	C(1)オ, カ (2)イ
	○ 自分の思いが明確になるように、このお話を紹介するための簡単な構成を考えている。	B(1)イ (2)ア
	○ 心に残ったところやあらすじをまとめて、お話を紹介する文章を書く活動をしている。	B(1)イ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 登場人物と主なできごとを確かめている。	
	○ アレクサンダは、いつ自分の考えを変えたのか、また、なぜ変えたのか話し合っている。	
	○ 命ある生き物とおもちゃ、その二匹のねずみの様子や気持ちの変化を想像しながら読み、心に残ったところやあらすじをまとめて、お話を紹介する文章を書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
アレクサンダとぜんまいねずみ①	1	○ 全文を読み, 「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
アレクサンダとぜんまいねずみ②	5	○ 登場人物と主なできごとを確かめる。	構造と内容の把握/精査・解釈
アレクサンダとぜんまいねずみ③	1	○ 物語の初めと終わりで, 何が変わったか話し合う。	考えの形成
アレクサンダとぜんまいねずみ④	5	○ アレクサンダは, いつ自分の考えを変えたのか, また, なぜ変えたのか話し合う。	考えの形成
		○ アレクサンダが考えを変えたことについて, 考えたことをノートに書き, 発表し合う。	考えの形成
アレクサンダとぜんまいねずみ⑤	4	○ 心に残ったところやあらすじをまとめて, この物語を紹介し合う。	共有
		○ 133ページ「ふりかえろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	2	教出	下	134 ~ 135	2	3 ~ 3	

大単元(題材名)	国語の学習		
中単元(曲名)	これまで これから		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	
関連する道徳の内容項目	A 希望と勇気, 努力と強い意志		

【到達目標】

知・技	○ 文の中における主語と述語との関係に気づくなど、この一年の国語学習で学んだことに注意して書くことができる。
思・判・表	○ この1年間をふり返り、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。
	○ 紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動ができる。
	○ この1年間をふり返り、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。
	○ これまでの学習をまとめ、身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ この1年間の国語の学習をふり返りながら、これからの学習でどんな活動をしてみたいかを話し合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 文の中における主語と述語との関係に気づくなど、この一年の国語学習で学んだことに注意して書いている。	(1)カ
思・判・表	○ この1年間をふり返り、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。	A(1)エ (2)ア
	○ 紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動をしている。	A(1)エ (2)ア
	○ この1年間をふり返り、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	B(1)ア (2)ア
	○ これまでの学習をまとめ、身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動をしている。	B(1)ア (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ この1年間の国語の学習をふり返りながら、これからの学習でどんな活動をしてみたいかを話し合っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
これまで これから①	1	○ この1年間の国語の学習で、どのような学習をしてきたか書き出す。	考えの形成
		・ 教科書2・3ページを参考に思い出す。	考えの形成
これまで これから②	1	○ これからどのような活動をしたいか話し合う。	共有